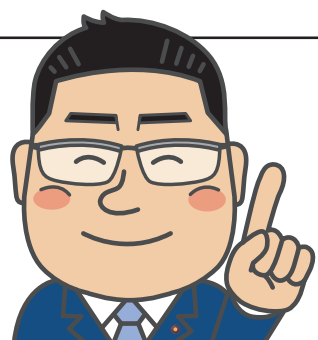




令和元年度 富山県議会 始動

ごあいさつ

新しい時代がスタートしました。新元号「令和」の考案者と言われる、高志の国文学館中西進館長や大相撲5月場所では朝乃山関が富山県出身力士として横綱太刀山以来の103年ぶりの幕内最高優勝。八村塁選手のNBA入りなど、日本全国はもちろん世界からも富山県が注目されています。県ゆかりの方々の活躍は、県民の誇りであり私たちに夢と感動、希望を与えてくれました。

さて、北陸新幹線開業から4年余り、観光客の増加、企業立地

の進展、Uターン率の向上、(沖縄に次いで、全国2番目)若者を中心とする移住者の増加など明るい傾向が見られます。昨年度の移住者は過去最高の905人、世帯主の85パーセントが20代から40代の若い方々です。

県政の課題はまだありますが、(若い女性の県外流出が多い)若い世代にここで住みたい、働きたいと「選ばれる富山県」となりつつあります。この流れを持続させ、「とやま新時代」のさらなる飛躍を目指し初心を忘れず頑張ります!

庄司昌弘



開かれた議会へ

県議会のしくみ

定例会と臨時会

定例会は、年4回(原則として2月、6月、9月、11月)定例的に招集されます。臨時会は、必要のあるとき、特定の事件を審議するために招集されます。

本会議

本会議は、議員全員が参加して開かれ、議会の最終的な意思決定はすべてここで行われます。本会議では、会派の代表による代表質問、議員個人による一般質問などが行われます。

予算特別委員会

予算特別委員会は、予算を総合的に審査するため、本会議の議論を踏まえて一問一答方式の質問により論議を深める、本県議会の特色ある制度です。

常任委員会

常任委員会は、県政の諸問題を専門的に調査・審査するために次のとおり5つの分野別に設置されています。

経営企画委員会

総合政策局、経営管理部、出納局、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項を調査・審議します。

厚生環境委員会

厚生部、生活環境文化部の所管に関する事項を調査・審議します。

県土整備観光委員会

観光・交通振興局、土木部、企業局、収用委員会の所管に関する事項を調査・審議します。

教育警務委員会

教育委員会、公安委員会の所管に関する事項を調査・審議します。

庄司まさひろ所属委員会

副委員長として交通安全や防犯など富山県の安全安心や次代を担う子供たちの教育について関係機関と連携しながら課題解決に取り組みます。



経済産業委員会

商工労働部、労働委員会、農林水産部、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会の所管に関する事項を調査・審議します。

特別委員会

特別委員会は、必要がある場合に設けられるもので現在は次のとおり設置されています。

産業振興特別委員会

産業の振興に関する調査を行うため、令和元年5月臨時会において設置されました。

人口減少問題特別委員会

人材育成・確保、人口減少、少子高齢化対策に関する調査を行うため、令和元年5月臨時会において設置されました。

庄司まさひろ所属委員会

総合交通・県土強靱化特別委員会

陸海空の総合交通施策・2次交通対策、総合的・計画的な防災・減災対策等に関する調査を行うため、令和元年5月臨時会において設置されました。

決算特別委員会

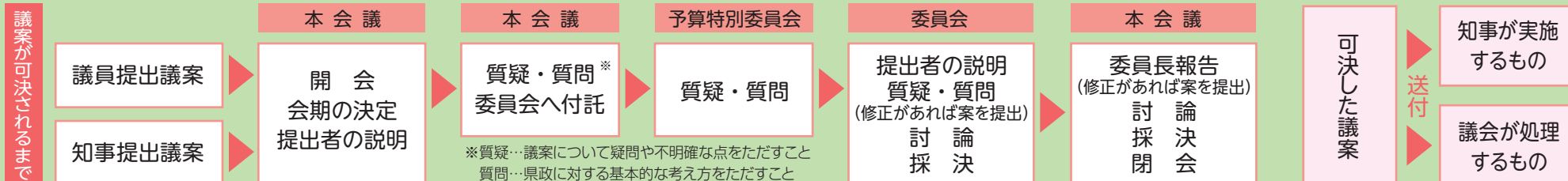
知事から提出された決算認定議案を審査するため、例年9月定例会で設置されます。閉会中も審査を行い、11月定例会で審査報告を行います。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営に関する事項や意見書・決議案について協議し、調整します。

政策討論委員会

政策討論委員会は、県政の重要事項及び当面の政策課題等について、議員の政策提案及び政策討論を行います。



地域の皆様と議会をつなぐ 庄司まさひろ県政報告会を開催しています。

6月25日(火) 杉谷公民館、6月28日(金) 山本公民館、6月29日(土) 東老田公民館にて開催いたしました。沢山の皆様にお集まりいただき有難うございました。

庄司まさひろが、県政のご報告と皆様のご意見をお聞きます。お近くで開催の際には、お気軽にご参加ください。



庄司まさひろからのご報告

令和元年9月 県議会定例会にて 一般質問を予定しています。

9月県議会 定例会は9月10日火曜日から30日月曜日にかけて開催されます。9月19日木曜日午後より初めての一般質問の機会をいただきました。私が今まで培ってきた農業や教育の分野、地域の諸課題について質問する予定です。質問は約20分間、答弁は約40分間です。ぜひ、県会議事堂に足をお運びください。お待ちしております。



令和元年6月 富山県議会 定例会代表質問

〈一部抜粋〉

1 地方創生の深化に向けた取組みについて

問 とやまの未来創生について

国の「地方創生戦略」を最大限に生かし、地元産業の活性化、新たな企業誘致、観光振興、県内へのさらなるUIJターンや移住の促進、県民の希望出生率の達成に向けた環境整備に一層努力する。



問 人材確保対策について

1 移住・UIJターンの促進について

昨年度県や市町村等の窓口を通した移住者数が過去最高の905人となり、世帯主の約85%が20代から40代の若い方々であり、取組の成果が現れている。全国に先駆け4月に対象となる企業の求人情報を公表するとともに東京で対象者向けのセミナーを開催している。

2 外国人材の受入支援体制の整備について

「外国人ワンストップ相談センター」を6月に開設するほか、外国人材活躍・多文化共生推進プラン(仮称)の本年度秋までの策定に向け議論・検討を進める。

問 北陸新幹線の早期全線開業に向けた取組みについて

金沢・敦賀間の令和4年度末までの確実な開業と、敦賀・大阪間の早期全線開業に向けた必要財源、貸付料の算定期間の延長等の検討、並行在来線の経営安定政策の充実など強く求める。今後も北陸・関西沿線自治体、経済界など連携し政府等に対し強力に働きかける。

問 文化振興による地域活性化の取組みについて

新世紀富山文化振興計画を策定し、シアターオリンピックスの開催や立山砂防の世界文化遺産登録に向けての取組。2020年富山世界こども演劇祭の開催と合わせて高志の国文学・ふるさと文学の振興を核として文化面での魅力を世界に発信し多彩な魅力のある富山県として一層の地域活性化に取り組む。

2 地域経済の活性化について

問 本県の医薬品生産額1兆円に向けた取組みについて

昨年5月創薬研究開発センターを開所してバイオ医薬品などの付加価値の高い医薬品研究開発への支援体制を強化。また、くすりのシリコンバレーとやま創造コンソーシアムでは付加価値の高い医薬品の研究開発を鋭意進めるとともに東京圏の学生を対象としたサマースクールやバイオ医薬品の製造方法を学ぶ人材育成プログラムを実施する。



問 ロボット、IoTやAIなどの第4次産業革命への対応について

新富山県ものづくり産業未来戦略を策定し医薬バイオ、次世代自動車、ロボットなどのほか新たにヘルスケア産業を加えた7つの成長分野の取組強化や産学官連携によるオープンイノベーションの推進、ものづくり人材の育成確保などの方向性を示した。また富山イノベーション推進会議を設置し新しいプロジェクトの創出に向け今後の研究分野や既存概念にとらわれない5Gの利活用方策などの検討を行う。

問 あいの風とやま鉄道の新駅整備等について

7月末までに詳細設計が完了予定であり本年秋ごろからは建設工事に着手し、令和3年春の開業を目指す。新駅の設置は地域公共交通の利便性向上に加え隣接する県有地の開発を含め新たな鉄道利用者の増加や周辺地域の活性化につながる事から、あいの風とやま鉄道や地元富山市と充分連携して国に対し予算確保を強く働きかける。

問 社会資本整備と事業量の確保、発注状況等について

道路などの整備、河川改修や大規模土砂対策、港の機能強化また橋梁の耐震化などの地震津波対策のほか社会インフラの老朽化対策、通学路の整備などの身近な社会資本整備にも積極的に取り組む必要がある。「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による国からの公金も活用し安定的・持続的な公共事業予算確保と発注の平準化に努める。

問 富富富の競争力強化について

作付面積が昨年の2倍以上となり、今後も栽培技術対策を徹底し高品質・良食味を確保しつつ生産に取り組む、加えて県内・首都圏を中心に新しいCMの作成や首都圏の本県ゆかりの店での提供を行うほか、特別栽培米の生産・販売実証、海外に向けた魅力発信等、ブランド化確立に向け積極的に取り組む。



問 県産材の活用状況について

県産材利用促進条例に基づき平成29年度に策定した県産材の利用促進に関する基本計画のロードマップに沿って県産材の需要創出、需給のマッチングの円滑化などに取り組んでいる。公共施設では魚津市で全国初となる木造3階建ての小学校の校舎が整備された他、県内で初めてCLT直交集成板が構造材として使用された県立大学新学生会館が完成。今後も関係団体や市町村と連携し県産材の更なる利用促進に努める。



3 安全・安心な暮らしの実現について

問 地域の安全・安心の確保について

大規模地震等を想定した災害時受援計画を策定し市町村における受援計画の支援を進める。大津での保育園児死亡事故や川崎市で発生した児童等の殺傷事件を受け改めて通学路の安全点検等を徹底。富山南警察署(仮称)については、今年秋の竣工に向けて着実に整備をすすめている。

問 弥陀ヶ原火山防災対策について

噴火警戒レベルを踏まえた地域防災計画を策定するとともに立山町と連携し避難場所や立ち入り規制箇所等を地図上に示した火山防災マップの作製を行うほか立山町などが策定する避難計画の支援協議なども行う。立山は年間100万人が訪れる国際的な観光地であることから今後とも関係機関と連携して観光客や登山者等の安全確保に取り組む。

問 子育て支援による女性活躍社会への取組みについて

病児・病後児保育の充実や放課後児童クラブの拡充、子育て応援券また一般事業主行動計画の策定支援、企業子宝率調査を活用した医療事例の発掘検証普及ケアに取り組んできた。新たに設置した女性就業支援センターにおいて潜在的な女性求職者の掘り起こしや女性が働きやすい職場環境づくりを企業に働きかけている。さらに病児・病後児保育や延長保育の実施箇所数の増加、保育人材の確保にも取り組む。



問 ひきこもり対策について

原因や本人家族の状況は様々で、とりわけ高齢化長期化しているケースでは社会的孤立が長期間に渡り経済的に困窮している場合も多い。医療、保健、福祉、教育、就労等の関係団体とネットワークを構築して、細かく継続的な支援を行う。

問 高齢ドライバーの運転免許の自主返納について

高齢運転者による交通事故を防止するためシルバードライビングスクールの開催など高齢者が運転を継続する上での支援を行っている。専用電話の設置や専門知識を有する看護師等の配置、日曜日の自主返納受付業務の拡大、などに取り組んできた。更に要望に応じ必要な情報を自治体の高齢福祉担当部署に連絡する情報提供制度を開始している。

4 明日を拓く人づくりについて

問 臨時的任用教員の未配置解消について

来年度の採用予定数を15名上乘せして315名とした他、臨任講師については内定の決定時期を前倒しする方向で検討。再任用教員については定年退職した教員ができるだけ再任用を希望されるよう、任用地や任用決定時期を工夫するなど運用の見直しに向け現在市町村教育委員会と協議を進めている。

問 優秀な教員人材の確保について

教員採用選考検査において専門的な知識や経験を有する方を対象として別枠での採用制度を設けている。採用が困難な専門科目については特別免許状の活用を前提として教員免許を持たない社会人経験者も受験可能とするなどの取り組みを行っている。教師養成塾については授業展開のスキルが習得できるだけでなく地元での教員就職にも有効な方策と考えており、他県の取組も参考にして確保対策に取り組む。

問 私立高校教育の充実について

私立高校にも発達障害等により配慮や支援を要する生徒が一定数に籍することから不登校への対策や特別支援教育等を充実させることが大切である。スクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの派遣など不登校の生徒に対する教育相談体制や特別支援教育体制の構築など支援するとともに不登校及び中退防止に対する私立高校教員の指導力の向上に向け専門家による研修会を開催している。

※掲載の写真はすべて、質疑内容に基づいたイメージ画像です。

国に対しての要望事項

6月7日金曜日、富山県議会 教育警務委員会 教育警務副委員長として中央省庁へ要望。



写真① 大臣官房 文教施設企画部長
写真② 文化庁 次長
写真③ 初等中等教育局 大臣官房審議官
(初等中等教育局担当)

1. 文部科学省への要望事項

- 1 少人数教育の充実等の教職員定数改善等について
- 2 英語教育及びICT教育の充実について
- 3 特別支援教育等と生徒指導の充実について
- 4 学校における働き方改革の推進について
- 5 独立行政法人教職員支援機構の研修機能移転の拡充について
- 6 交番等における安全対策の強化など地域住民の安全・安心の確保について
- 7 小中学校等の施設設備の推進について
- 8 北方領土の早期返還に向けた外交交渉の推進と交流事業等の充実・強化について
- 9 中山間地域の活性化について
- 10 移住・UIJターン就職の推進と人材確保の充実について
- 11 外国人材活用・多文化共生の推進について
- 12 総合的な少子化対策の推進について
- 13 地方大学の振興及び若者雇用について
- 14 「働き方改革」の実現に向けた取組みの強化について
- 15 私立学校の振興について
- 16 地震防災対策をはじめとする自然災害対策の充実・強化について
- 17 地方発イノベーションによる産業の高度化について
- 18 中小企業・小規模企業の活性化の推進及び創業者支援等について

- 19 「立山・黒部一防災大国日本のモデル」の世界文化遺産登録の推進等について
- 20 ユネスコ無形文化遺産等の魅力発信への支援について
- 21 「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録の推進等について
- 22 地方から世界に発信する芸術文化の振興について
- 23 新たに開催予定の「国際工芸アワードとやま」(仮称)への支援について
- 24 文化芸術活動の振興等について
- 25 デザインの振興について
- 26 戦略的な観光地域づくりの推進について

2. 警察庁への要望事項

- 1 交番等における安全対策の強化など地域住民の安全・安心の確保について
- 2 (仮称)富山南警察署の新築整備について
- 3 交通安全施設の更新整備について
- 4 国民保護及びテロ対策の推進等について

